



MEIKAI

NEWS LETTER 2014.3.27 Vol.213 (特別号)

明海大学
臨時発行
編集・発行
企画広報課

宮田 淳氏 理事長に就任

学校法人明海大学理事会は3月27日、宮田侑理事長の辞意を受けて、新たに宮田淳氏を理事長に選出した。「建学の精神」の具現化と、時代の変化に即応するための世代交代という前理事長の強い思いを若き新理事長が継承する。新しい時代の扉が開いた。



宮田侑前理事長（左）と宮田淳理事長（右）



宮田侑前理事長

大学の永遠の発展には、常に時代の変化に即応することが必要であるという信念に基づき、宮田侑理事長は後進に「夢」のバトンを託した。

次代の若手に「夢」を託す

1970年、明海大学の前身である城西歯科大学の開設以来、創立者である宮田慶三郎先生を支え、建学の精神の具現化に向けて、常に先頭に立った。宮田慶三郎先生の逝去を受けて、1997年5月に理事長に就任。16年10ヶ月という永きにわたり大学改革に心血を注いだ。この間、大学院応用言語学研究科、経済学研究科および不動産学研究科の設置ならびにホスピタリティ・ツーリズム学部

の設置、歯学部における生涯研修の事業化、そしてPDI東京歯科診療所およびPDI浦安歯科診療所の開設など時代の要請に即応した運営を行い、また強固な財務基盤を確立した。信条ともいえる国際交流事業も活発に展開し、自ら諸外国を訪れ大学間の交流を促進、そして現在まで続く学生間交流の礎を築いた。なお、今後は法人相談役として大学運営を見守ることとなった。

建学の精神のさらなる具現化をめざして —宮田淳理事長 就任メッセージ—

先進国における経済成長の鈍化、エネルギー・資源の問題や経済発展に伴う環境汚染など地球規模で連動する課題が山積するなど人類は今、様々な困難に直面しています。このような状況下で、高等教育機関である大学の果たすべき役割はますます重要なものとなっています。

私は理事長として、本学が掲げる「社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成」という建学の精神を具現化すべく、学生の皆さんには多様化する社会のニーズに対応し、さまざまな視点から問題解決へのアプローチを学んでいただきたいと考

えております。そのためには各分野の専門家による愛情あふれる厳しい教育を提供し、修学環境を整備し、学生皆さんが抱くそれぞれの「夢」の実現を支援して参ります。1970年の創立から44年になりますが、社会における卒業生の活躍こそが明海大学の真の評価だと信じております。その活躍の基盤を形成するものが「学び」であり、大学は卒業後も継続して「学びの場」を提供して参ります。

創立者宮田慶三郎が創り上げ、前理事長が育んだ「夢」を継承すべく、明海大学のさらなる発展のため誠心誠意努力する所存です。皆様方からの変わらぬご支援、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



宮田淳理事長

略歴

1969年2月16日生まれ。45歳。1992年3月慶應義塾大学商学部卒業、1997年3月東洋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。修士（経済学）。明海大学経済学部助教授、ホスピタリティ・ツーリズム学部教授。学校法人明海大学常務理事、朝日大学法人本部長などを歴任。

新たな執行体制が決まる

2014年3月27日に開催された理事会において、宮田淳氏を理事長とする新執行体制が決定した。同日に発足した新体制では、新たに副理事長職が置かれ、増岡由弘氏が就任した。新しい役員は次のとおり。

【学校法人明海大学 新役員】

理事長	宮田 淳	理事	大友 克之※	理事	中嶋 裕
副理事長	増岡 由弘	理事	岡村 明夫	監事	永松 榮司
常務理事	市川 重雄	理事	坂上 宏※	監事	菱田 健治※
常務理事	梅澤 伸男	理事	地下 和弘	相談役	宮田 侑※
理事	安井 利一	理事	鳥飼 重和		※は新任